

# 公民連携、全員参加型の市政へ。



そもそも、市長がいるのはなんのため？

市職員の皆さんとの対話の機会を増やしたい。

民間企業と、地方公共団体の経営ってどう違うの？



内舘しげる

盛岡市の主役は30万市民。市長を先頭に市職員は、30万人一人ひとりの幸せのために存在しています。民間の気持ちがわかって、スピード感、サービス精神を持って職務にあたることが大切。これからの首長には組織を動かすリーダー経験も必要です。市民が主役の「チーム盛岡」を経営していきたいと思えます。

## CHANGE

### ☆民間主導の公民連携で都市経営課題の解決を目指します

- 内舘しげるの企業経営の経験と、ひとりの市民としての感覚と志を市政に注入し、全国でもオンリーワンの、皆さんが住みたいと思えるまちになるものと確信しています。

### ☆市長直管の「部局横断型の戦略室」を新設

- 市民サービスの向上。
- 盛岡ブランド等の体外的な営業活動強化。
- 公民連携のまちづくり・長期ビジョンの策定。
- 市民の声のデータベース化とオープン化。

※だれでも参加できる市民とのランチ会を月1回開催するなど、声を聴き市政に反映させる機会を創出します。

たとえば「除雪」対策…。  
タクシーやゴミ収集車と連携し、  
路面状況を情報共有したり、除雪路線の見直し、  
直営除雪班の組織化、貸し出し用簡易除雪機を  
1000台に増加!など、推進していきます



### ☆対話

- 従来のまちづくり懇談会に加え、商工業者、若者、女性等の各懇談会を開催。市長が住民と向き合い直接対話をします。

### ☆検証

- ごみ処理の広域化、公立保育園の「全園民営化」、市立図書館の整備など、本来の理念・目的のもとゼロベースで検証します!